

## 単元名 Unit 8 A Surprise Party

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解することができる。今していることについて、尋ねたり答えたり、その状況を書いたりすることができる。また、自分や相手の感動や驚きを理解したり伝えたりすることができる。
- (2) 現在の状況を知るために、人が今していることについて、簡単な語句や文を用いて尋ねたり答えたりすることができる。また、人がどのような気持ちであるかを知るために、感動や驚きの気持ちを聞き取ったり、読み取ったりすることができる。
- (3) 現在の状況を伝え合うために、人が今していることについて、簡単な語句や文を用いて尋ねたり答えたり、その状況を書いたりしようとする。また、人がどのような気持ちであるかを知るために、感動や驚きの気持ちを理解したり、自分の気持ちを伝えたりしようとする。

## 標準的な展開例

10250205\_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Starting Out 今していることについての話を聞き取って、単元全体の概要を学習する。 ★今していることについての話を聞き取ってみよう。 ○単元の最後に実況レポート大会を行うことを伝える。</p> <p>○ Warm-upを行う。</p> <p>○ Enjoy Listeningを行う。</p> <p>○ Previewを行う。</p> <p>2 Story1 電話の内容を聞いて、今していることについての伝え方を学習する。 ★今していることについて伝えよう。 ○ Teacher's Talk を聞き、質問に答える。</p> <p>○ 本文と質問を聞き、問題に答える。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p> <p>○ 現在進行形の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 基本表現の学習をする。 ○ Practiceに取り組む。 ○ 書く活動に取り組む。</p> <p>3 Story2 会話を聞いて、今していることについての尋ね方や答え方を学習する。 ★今していることについて尋ねたり答えたりしよう。 ○ Teacher's Talk を聞き、質問に答える。</p> <p>○ 本文と質問を聞き、問題に答える。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p> <p>○ 現在進行形の疑問文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 基本表現の学習をする。</p>	<p>・ p83のUnit Activityを見せ、単元最後の目標を意識させる。</p> <p>・ 単元のルーブリック表などを作成して配布し評価の基準を事前に伝え、見通しをもって単元の学習をするように促す。</p> <p>・ レポート大会で用いる学校の日常の風景を1分程度の動画で撮影しておくことを伝える。</p> <p>・ ペアでお互いに英語で話し合わせ、表を完成させる。</p> <p>【評】 電話の相手が今していることについて聞き取る取組を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ メグが今何をしているかを話し合わせ、次回の予告として紹介する。</p> <p>・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。</p> <p>・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。</p> <p>・ 閉本した状態でリスニングをさせ、メグが翌日の何時にどこへ行けばいいかを聞き取らせる。</p> <p>・ 個人で黙読させた後、ペアで内容確認を行わせる。</p> <p>・ 教師が質問をし、生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。</p> <p>・ Key Sentenceを見せ、日本語で現在進行形の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・ 基本表現を本文で確認する。</p> <p>・ Practiceを行い、基本文の定着を図る。</p> <p>・ 自分と友達2人がそれぞれしていることをペアで話し合い、ノートに書く。</p> <p>・ それぞれ違う動詞を用いて書かせる。</p> <p>【評】 今していることについて話したり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。</p> <p>・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。</p> <p>・ 閉本した状態でリスニングをさせ、ジョシュが撮影しているのが写真なのか動画なのかを聞き取らせる。</p> <p>・ 個人で黙読させた後、ペアで内容確認を行わせる。</p> <p>・ 教師が質問をし、生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。</p> <p>・ Key Sentenceを見せ、日本語で現在進行形の疑問文の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・ 基本表現が本文のどこで使われているかを確</p>

- Practiceに取り組み。
- 書く活動に取り組む。

#### 4 Mini Activity 学習事項を用いて、今していることについて尋ねたり答えたりする活動を行う。

- ★ジェスチャークイズを行おう。
- 学習事項を用いた話を聞いて問題に答える。
- ペアで1分間ジェスチャークイズを行う。
- ペアを変えてジェスチャークイズを行う。
- 男子チームと女子チームに分かれジェスチャークイズを行う。

#### 5 Story3 会話を聞いて、自分の気持ちを伝えるために、感動や驚きの表現の仕方を学習する。

- ★感動や驚きの気持ちを伝えよう。
- Teacher's Talk を聞き、質問に答える。

- 本文と質問を聞き、問題に答える。

- 本文の学習をする。

- 感嘆文の形・意味・用法を知る。

- 基本表現の学習をする。

- Practiceに取り組み。
- 書く活動に取り組む。

#### 6 Unit Activity 学校の日常レポートに取り組む。

- ★実況レポーターになって学校の日常のレポートに取り組もう。

- 4人グループを組み、それぞれ撮影した動画を基に、3文程度で実況中継を行う。

- 最も印象的な動画を使っていた人を選び、グループで説明を補足する。

- グループ毎に全体に対して実況レポートを行う。

- 最も詳しく情報がまとめられていたグループを選び、表彰を行う。

- ルーブリック表を基に振り返りをする。

#### 7 Let's Write1 お祝いーグリーティングカード

- ★英語でグリーティングカードを作成しよう。
- グリーティングカードの書き方を学ぶ。

認する。

- ・ Practiceを行い、基本本文の定着を図る。
- ・ 本文のイラストについて何をしているのか尋ねる文を言ったり書いたりする。

【評】 今何をしているのかを話したり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 学習事項の確認として文法を意識させる。
- ・ 全員起立させ、ペアの答えが当たったら座らせる。
- ・ ペアを変えて何度か行わせる。
- ・ 男子チームと女子チームに分けて、3分間に正解した数を競わせる。
- ・ 男子チーム用のお題と、女子チーム用のお題を予め用意しておく。
- ・ 各チームから1名代表者を選び、ジェスチャーを行わせ、同じチームのメンバーに疑問文で答えさせる。

【評】 ジェスチャークイズへの取組を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。
- ・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。
- ・ 閉本した状態でリスニングをさせ、メグはもらったプレゼントを気に入ったかどうかを聞き取らせる。
- ・ 個人で黙読させた後、ペアで内容確認を行わせる。
- ・ 教師が質問をし、生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。
- ・ Key Sentenceを見せ、日本語で感嘆文の形・意味・用法を確認する。
- ・ 基本表現が本文のどこで使われているかを確認する。
- ・ Practiceを行い、基本本文の定着を図る。
- ・ 教師が電子黒板にかわいい動物やかっこいい動物、美しい花などを提示し、「なんと?な…だろう!」という文をペアで言い合い、ノートに書かせる。

【評】 感動や驚きの文を言ったり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 5分程度、個人で動画を見せながらレポートする練習を行わせる。
- ・ グループ内で、撮影した動画を基に実況レポーターになりきってレポートをさせる。
- ・ グループ内で最もよく実況できていたレポーターを選び、撮影した場所や時刻、写っている人たちがしていること、その場所と自分との関係や、その風景から感じることなどの情報を補足し、1分程度の実況中継をグループで1つ完成させる。
- ・ タブレットで作成した動画を電子黒板に投影し、全体の前で発表させる。

【評】 実況レポートへの取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・ 最も詳しく実況レポートを行ったグループを選び、表彰する。
- ・ 各自、ルーブリック表を基に自己評価をさせる。

【評】 実況レポートの内容を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ 教科書を基に、カードの書き方の型を学ばせる。

<p>○ グリーティングカードでよく使われる表現を学ぶ。</p> <p>○ STEP2を行う。</p> <p>○ Tool Boxを参考にして、自由にカード作りを行う。</p> <p>8 学び方コーナー4 単語のつづりと発音②</p> <p>★英語の子音の文字と音との関係を知り、英語らしい発音を学習しよう。</p> <p>○ 子音の発音を学習する。</p> <p>○ Let's Tryを行う。</p> <p>9 Grammar for Communication 現在進行形の形・意味・用法を学習する。</p> <p>★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。</p> <p>○ 現在進行形の使い方・形を学習する。</p> <p>○ Let's Tryに取り組む。</p> <p>○ 単元テストに取り組む。</p> <p>○ Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</p>	<p>・教科書を基に表現を確認し、タブレットを用いて教科書にない表現を調べさせる。</p> <p>・お礼のカードを作成し、電子黒板によく出来ているものを提示して共有する。</p> <p>・各自で作成したいグリーティングカードを選択させ、作成させる。</p> <p>【評】グリーティングカードの作成を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・p6,7を参考に、フォニックスについて振り返る。</p> <p>・教師主導でアルファベットの発音の仕方や音の足し算で単語が構成されていることを確認する。</p> <p>・舌の使い方を確認する。</p> <p>・子音連結の間に母音を入れない読み方を練習させる。</p> <p>【評】子音連結に注意して単語の発音をする取組を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書付属の問題や教師の自作した問題に取り組ませ、基本表現の定着を図る。</p> <p>【評】単元テストを通して、学習事項についての「知識・技能」を評価する。</p>
---	---

【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。

各授業の帯活動として、p56を利用した会話練習を「スモールトーク」として定期的に行っていき、英語を言語として使用することに慣れさせていきたい。

各Story最後の書く活動では、タブレットで書かせた答えを教師用タブレットに提出させ、全員の英文を提示しながら添削していくとよい。

グリーティングカードの学習においては、美術科と連携するとよい。例えば英語の授業で学習した表現を用いて、美術科の授業でカード作りを行う。クリスマスや正月に実際にカード交換をするなど、教科横断学習や生活に即した学習を行えるよう活動のゴールを工夫する。